



城南中だより

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

3月修了式号 令和7年3月26日発行 第15号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>
TEL 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

進級おめでとうございます

有終の美！ 新年度に向けて気持ちもリフレッシュです！

祝辞で述べられていた人物～ロールモデルについて

校長 吉原 誠 士

―昨日の小学校の卒業証書授与式では、私は新和小学校にて、教頭が和土小学校にて、最高学年の立派な姿を目にして改めて来年度が楽しみになりました。校長先生の卒業生を誇りとする思いと心からのエールにも感動を覚えました。また、来賓として列席する緊張感はありましたが、校長として自校の式に臨むのとは異なった少しの余裕もあり、教育委員会と市長から贈られた祝辞にも聞き入ることができました。その中に登場した二人の人物について、改めて気付くところがあり、タイミングよく取り上げておきたかったなという反省が湧いたのでした。

まず、パリオリンピック金メダリストの北口^{きたぐち}榛花選手について、小学生・中学生の時から水泳やバドミントンに熱中し英会話やピアノも習う「興味を持とう、挑戦してみよう」という活力あふれる人物だったことに気付かされました。6年生の時にはバドミントン団体全国優勝、中学校に入って全国総体競泳の部で北海道予選出場、高校入学後はやり投げを始めてわずか2か月に北海道大会制覇、その後は全国高等学校総合体育大会で優勝までしています。すべてに徹底して取り組む姿勢と、肉体面も精神面もすべての経験を互いに作用し合うようにして五輪での勝利につなげた力は、「いろいろ、たくさんの勧め」「直接体験」の大切さを体現する模範だと言えます。

次は、まだ海外旅行が難しい1950年代に貨物船で単身ヨーロッパに渡り、その地で国際指揮者コンクール優勝を成し遂げた小澤^{おざわ}征爾氏についてでした。それ以前の学生時代から先生の代わりに指揮をするなどして腕を上げていたことは自身の著書で語っています。要は若い時から「疑問に思ったら完全に理解するまで徹底して追求する姿勢」があったのです。息子で俳優の小澤^{おざわ}征悦氏も早朝からの無我夢中で楽譜を読み込む姿に驚かされたと言っています。「常に夢や希望をもち、遭遇した事態をチャンスにすべく努力する」点も一生変わりませんでした。私はクラシックのファンでありながら、生でその指揮による演奏を聴く機会がなかったことを後悔しています。

校長室に戻って改めて二人について調べてみました。自分の生き方を考えるとき、参考になる人物＝ロールモデルを求めるのは大切なことです。これからの目標を立てるにあたり、社会で活躍している様々な人たち、身近な先輩や大人たち、あるいは同級生の中からも、あこがれの人物を見つけて「この人のようにになりたい」という思いを抱いて欲しいものです。心得ておきたいのは、本当かどうかわからない話に振り回されないこと。増してや、噂を立てたり過去の話を蒸し返したりすることなどはリスペクトとは正反対の行為です。他人のよさを見つけようとすることは、自分自身があこがれの対象者になる近道でもあります。新年度に向けて、頑張ってみてください。

1年間お世話になりました。ありがとうございました。

新年度も城南中学校を明るく、力がつく学校にすべく努力してまいります。